

|            |          |          |           |
|------------|----------|----------|-----------|
| 人体の構造と機能演習 | 2年・前期    | 1単位      | 教授 安部 まゆみ |
| 科目カテゴリー    | 看護の対象の理解 | 科目ナンバリング | 32110282  |

### 1. 授業のねらい・概要

人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱならびに病理学で学習した内容に関する演習問題を解くことで、病態生理の基礎となる知識の定着をはかる。

### 2. 学修の到達目標

1. 各臓器の大きさや形状、体内での位置、各臓器の相対位置関係などを具体的に描ける。
2. 各組織・細胞の形態と機能を把握する。
3. 各臓器や組織の機能の正常状態と異常（疾病・病態）を把握する。

### 3. 授業の進め方

講義を中心に進めるが、人体・臓器模型、プリントも利用する。学生の主体的な取り組みを促す。

### 4. 授業計画（講義）

全15回とも1年次に履修した「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」ならびに「病理学」に関する問題を解く。問題自体は事前には開示しないが、問題の範囲は掲示する。授業中に解答・解説を行う。個々が自身の学習の習熟度を自覚し、主体的な学修へと繋がる内容とする。

### 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）100%

### 6. テキスト・参考文献

テキスト：林正 健二 編 ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学 第4版 メディカ出版  
杉本 由香 監修 2022年版看護師国試 PASS NOTE 学研メディカル秀潤社

### 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

既習の「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」「病理学」を毎回1時間程度、復習しておく事。

### 8. 受講上の留意事項

「人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ」ならびに「病理学」で学習した内容を質問形式で復習するので、事前に両教科書で予習をしっかりと行い、授業後に必ず復習をする事。

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、許可の無い教室の出入り、授業に関係ない言動は慎む事。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と模範解答は後日掲示する。質問・疑義は授業で、あるいは適宜個別に説明・対応する。

### 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。

### 11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における医師としての実務経験と医学系大学院における教員としての教育経験を活かして、講義を行う。